

10月24日(木)第6回教養アップ講座を開催しました。

「音色の不思議な世界」

講師 九州大学芸術工学部音響設計学科 山内 勝也 准教授

今回の講座は、人間の耳の構造のお話から始まり、音の3要素としての「振幅」「波長」「波形」へと進んでいきました。「振幅」は音の大きさ、「波長」は音の高さに対応しており、「波形」によって様々な楽器の「音色」を聞き分けることができると、物理の側面から「音」を考えていきました。そして、波形グラフをもとに、1秒間に数百も振動しているその1つの波のほんの少しの形の変化を人間の耳は聞き分ける能力を持ち、それによって、人は歌を歌い、オーケストラの演奏を楽しむことができるのだと改めて気づかされました。また、人間が言葉を聞き分ける際にも「音色」が関係していると知り、まさに「音色の不思議」に触れ、90名の参加者一同驚きを隠せませんでした。講座終了後には、質問する生徒が列をなし、1時間以上丁寧に対応していただきました。理系学部の研究内容でしたが、文理を問わず教養を深めることができた、とても興味深い講座となりました。

